

日立埠頭株式会社

[法人の概要]

平成19年7月1日現在

代表者名	取締役社長 高岡 洋(常勤)	県所管部課	土木部港湾課	
所在地	茨城県日立市久慈町1-3-10	電話番号	0294-53-2400	
ホームページURL	http://www.hitachi-futo.co.jp	E-mailアドレス	-	
資本金	270,500 千円	設立年月日	昭和34年8月14日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	株式会社日立製作所	76,600 千円	28.3 %
	2	茨城県	46,700 千円	17.3 %
	3	日立市	46,700 千円	17.3 %
	4	日立電線株式会社	12,000 千円	4.4 %
	5	株式会社日立物流	12,000 千円	4.4 %
	その他	17 団体	76,500 千円	28.3 %
設立目的	昭和34年に日立港において港湾運送事業及び関連事業を営営することを目的に設立。その後、平成元年に国際情勢の大きな変動、国内での高水準の設備投資と活発な個人消費による内需主導型経済の拡大に対応して、茨城県、日立市からの支援体制を強化し、第3セクターとしての基盤を確立するため増資し、現在に至る。			

[事業の概要]

事業名		平成19年度事業費	内容
事業1	一般港湾運送事業	2,610,414 千円	港湾における荷役業務
事業2	一般貨物自動車運送事業	2,057,386 千円	生乳輸送及び運送取次事業
事業3	その他事業	2,151,617 千円	倉庫業他

[組織]

7月1日現在の人数	平成17年		平成18年		平成19年					
	県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB				
役員	常勤取締役	4	0	0	4	0	0	3	0	0
	非常勤取締役	13	0	0	13	0	0	13	0	0
	常勤監査役	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監査役	2	0	0	2	0	0	1	0	0
	計	19	0	0	19	0	0	17	0	0
職員	管理職	69	0	0	73	0	0	72	0	0
	一般職	109	0	0	118	0	0	125	0	0
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	計	179	0	0	192	0	0	197	0	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	39	63	41	57	200	42歳 3月	13年 7月			

[収支の状況]		日立埠頭株式会社		(単位:千円)
区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
収 支 の 状 況	売上高	6,188,325	6,302,993	6,819,417
	売上原価	5,502,227	5,585,293	6,045,880
	売上総利益	686,098	717,700	773,537
	販売費及び一般管理費	612,563	613,458	651,648
	うち管理費	242,634	218,486	244,827
	うち人件費	369,929	394,972	406,821
	営業利益	73,535	104,242	121,889
	営業外収益	50,260	48,704	57,211
	営業外費用	43,572	42,488	51,597
	経常利益	80,223	110,458	127,503
	特別利益	0	0	0
	特別損失	0	0	0
	税引前当期純利益	80,223	110,458	127,503
	法人税, 住民税, 事業税	43,583	55,151	59,247
	当期純利益	36,640	55,307	68,256
	前期繰越金	246,082	253,492	274,159
当期未処分利益	282,722	308,799	342,415	
利益処分・損失補填額	29,230	34,640	34,640	
次期繰越金	253,492	274,159	307,775	
財 産 の 状 況	資産	4,428,918	4,673,140	4,629,816
	流動資産	2,391,432	2,821,273	2,939,174
	固定資産	2,037,486	1,851,867	1,690,642
	繰延資産	0	0	0
	負債	2,869,571	3,087,717	3,010,777
	流動負債	1,956,512	2,203,998	2,106,086
	うち短期借入金	63,600	60,000	0
	固定負債	913,059	883,719	904,691
	うち長期借入金	65,000	5,000	0
	資本	1,559,347	1,585,423	1,619,039

[財的関与の状況]		(単位:千円)		
区 分	平成16年度	平成17年度	平成18年度	
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	9,790	7,500	8,140
	貸付金	0	0	0
	計	9,790	7,500	8,140
	財政的関与の割合(%)	0%	0%	0%
	損失補償・債務保証	0	0	0

[平成18年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	日立港荷役機械保守点検業務: 8,140千円
貸付金	

[評価総括]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	8	8	100.0%
目的適合性	4	10	10	100.0%
組織運営の適正性	4	7	8	87.5%
健全性	9	32	36	88.9%
効率性	7	6	24	25.0%
合計	28	63	86	73.3%

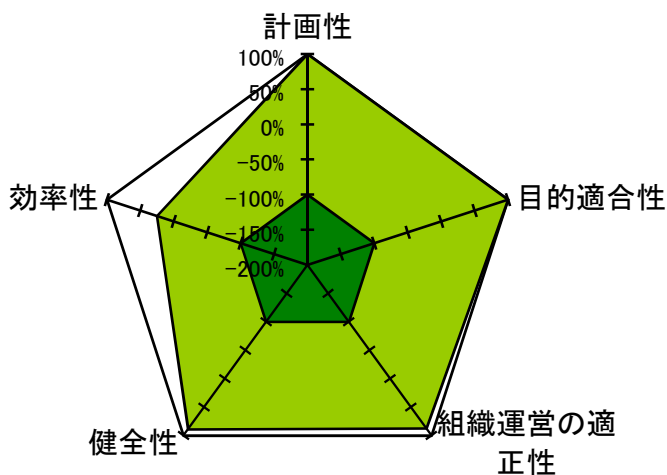
企業会計用

日立埠頭株式会社

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
中長期経営計画、年次計画を策定しており、年次計画は四半期毎に計画と実績を比較分析を実施している。	事業の公共性を自覚し、ISO9001品質方針に基づく活動方針を従業員に徹底し、顧客へのサービスに努めている。	ISO9001業務手順書及び他諸規則の遵守によりチェック体制を確立している。	激化するコスト競争への対応のため、業務の総点検及び支出の総ざらいによるコストの徹底削減を図る。	当社グループの結束を強化する。TQC活動(全社品質管理)及びITを駆使した作業改善により効率向上を図る。
今後の事業展開の方向	和協一致・基本と正道の精神のもと、総合物流サービス事業者として、誠意をもって顧客に応え、積極進取の気概を奮って健全な事業経営を追求すると共に、自らの公共的使命を自覚して、日立港・常陸那珂港の発展に寄与し、あわせて地域社会に貢献することを基本理念とし、常に時代が求める総合物流の在り方をハード・ソフト両面からご提案し、総合一貫物流をカタチにし、お客様の企業活動をサポートして参ります。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
景気の動向に対応するため、中長期経営計画及び年次計画の定期的な見直しを実施するなど計画完遂に努められたい。	日立港における唯一の港湾運送事業者として、顧客へのサービス向上に努める必要がある。	ISO9001の業務手順書の遵守など、適正な組織運営を図っている。	全社挙げてコストの徹底削減を図るなどし、4期連続の黒字経営となっている。	激化する港間のサービス競争に対応できるよう、一層の受注拡大及び合理化・効率化を図る必要がある。
法人担当課の意見	全社挙げての業務の総点検及び徹底したコストの削減効果により、3期連続の売上高60億円超えを達成し、4期連続の黒字となり安定した経営である。今後は、激化する港間のサービス競争に対応するため、グループ各社の結束をより強め、一層の受注拡大に努め、安定した経営基盤の確立を図って行く必要がある。また、時代が求める総合物流の在り方をハード・ソフト両面からサポートし、顧客の満足度を高め、日立港及び常陸那珂港の発展に寄与する、公益的な役割をなお一層発揮することが必要である。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点					
総合的所見等					
	<p>国際品質保証規格「ISO9001」の認証取得・更新により、高い経営管理レベルのもと、3期連続売上高60億円を超え、4期連続の黒字となるなど、安定した経営状況にある。今後とも、受注拡大に努め、業務の効率化、徹底したコスト削減等により安定した経営基盤の確立を図るとともに、港湾の発展に向け公益的な役割を担われたい。</p>				

総合的所見等に係る対応	より一層の受注拡大に努め、業務の効率化及び徹底したコスト削減等により、安定した経営基盤の確立を図るとともに、船舶・貨物を誘致し、港湾の利用促進を図るための港湾振興活動(ポートセールス活動)等、港湾の発展に向けた役割を担うよう指導するとともに、県としての関与の在り方等について検討していく。
-------------	--

< 日立埠頭株式会社 から県民のみなさまへ >

<p>私たちは「環境に優しい総合物流サービス」をスローガンに物流輸送方法を温暖化ガス(CO2)排出量の少ない海上輸送へ転換する「モーダルシフト」をお客様に提案し続けております。公正な・透明な企業活動を堅持し、お客様が求める「環境とコストの両立」に応え、「北関東の海の玄関(日立港、常陸那珂港、大洗港)」として、更に「日本一の地方港」を目指し、「安全」「確実」「迅速」な荷役技術の向上に努め、社会に貢献して参ります。また、生活必需品を安定供給するためのポートセールスや日々の港の監視、及び清掃活動を通じて「きれいな安全で安心の港づくり」を展開しております。</p> <p style="text-align: right;">平成20年2月 取締役社長 高岡 洋</p>
--